



平成28年度 全国学力学習状況調査特集号

**国語も算数もともに
A問題（「知識」に関する問題）もB問題（「活用」に関する問題）も
県の平均・国の平均を大幅に上回っていました！**

全国学力学習状況調査って
どんな調査ですか？

全国の小学校6年生と中学校3年生を対象に行うテストのことです。教科は算数（数学）と国語で行い、3年に一度程度、理科を行います。

目的は、全国的な学力や学習状況を把握・分析して、教育施策の改善を図ることと、学校で子どもたちへの教育指導の改善・充実を図ったり、子どもたち一人一人の学習状況の改善などに役立てたりするためです。

主として「知識」に関する問題って
どんな問題ですか？（A問題）

単なる知識・技能等の暗記ではありません。次の2つの内容です。

- 身につけておかないと（小学校の場合）中学校に行くと学習するときに困るような内容
- 実生活において必要な知識や技能で、常に使えるようになっていることが望ましいもの
つまり、きちんと習得しておかないと中学校や実生活で困るような知識・技能です。

主として「活用」に関する問題って
どんな問題ですか？（B問題）

いろいろな課題を解決する力のことで、次の2つの力です。

- 知識や技能などを実生活のいろいろな場面で活用する力
- いろいろな課題を解決するため、自分なりに構想を立てて実際に実行し、その結果を自分で評価して解決方法を改善する力
つまり、知識や技能を実生活で役立てる力です。

生活習慣や学校環境等に関する
質問紙調査とはどんな内容ですか？

児童生徒に対する調査と学校に対する調査の2種類があります。

- 児童生徒に対する調査とは⇒学習意欲や学習方法、学習環境、生活に関する調査
例：国語の勉強は好きですか？
一日にテレビを観る時間は？
- 学校に対する調査とは⇒指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件整備の状況
例：休み時間や放課後の補習の様子
コンピュータなどの活用状況

A問題とB問題の結果とその分析について

国語 A

- 本校の全項目の平均が、国と県の平均を大幅に上回っています。
- 全ての項目で国と県の平均を上回っていますが、特に「書く力」が優れています。

国語 B

- 本校の全項目の平均が、国と県の平均を大幅に上回っています。
- 全ての項目で国と県の平均を上回っていますが、特に「国語への関心・意欲・態度」が高く、記述式の問題がよくできています。

算数 A

- 本校の全項目の平均が、国と県の平均を大幅に上回っています。
- 全ての項目で国と県の平均を上回っていますが、特に、「量と測定」の領域がよくできています。 ※単位量あたりの大きさの求め方や三角形の底辺と高さの関係等

算数 B

- 本校の全項目の平均が、国と県の平均を大幅に上回っています。
- 全ての項目で国と県の平均を上回っていますが、特に、「数量関係」の領域がよくできています。 ※グラフを読み取ったり式の意味を書くような問題

今後の改善方策について

基礎基本のより一層の充実を図ります

- 国や県の平均より知識や技能が身につけていますが、宿題と自主学習ノートの充実を進めて、基礎基本の確実な定着を図ります。

活用する力をより一層高めます

- 今後も、子どもが授業の主役となる「学び合い」の学習やアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れ、思考力や判断力、表現力を育成します。

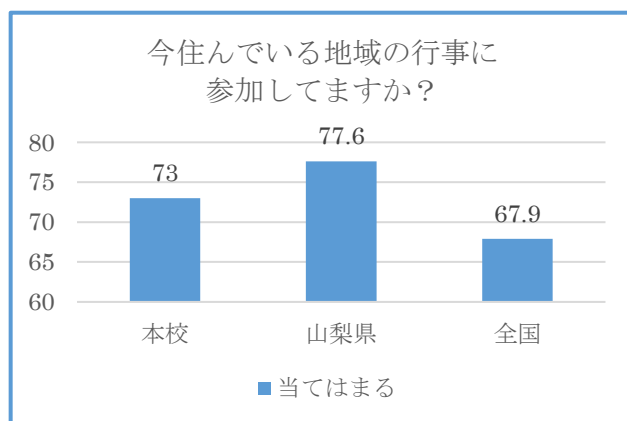
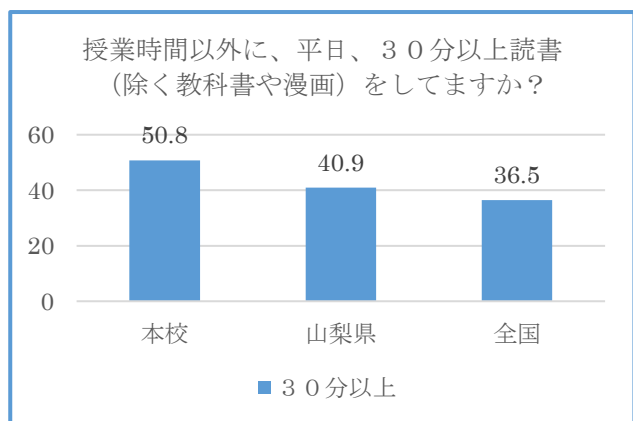
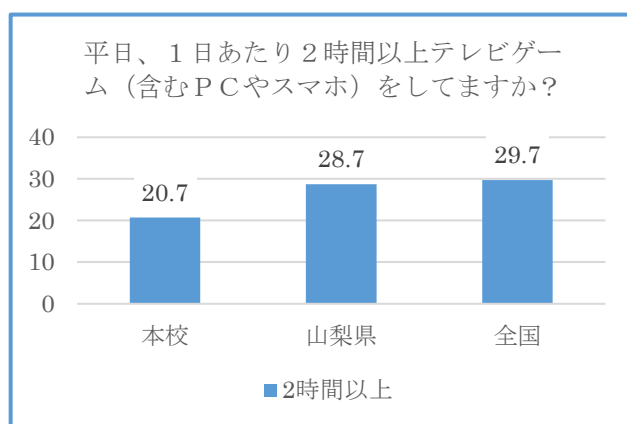
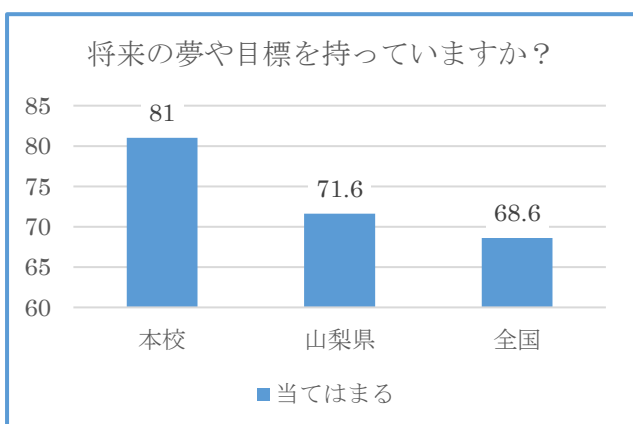
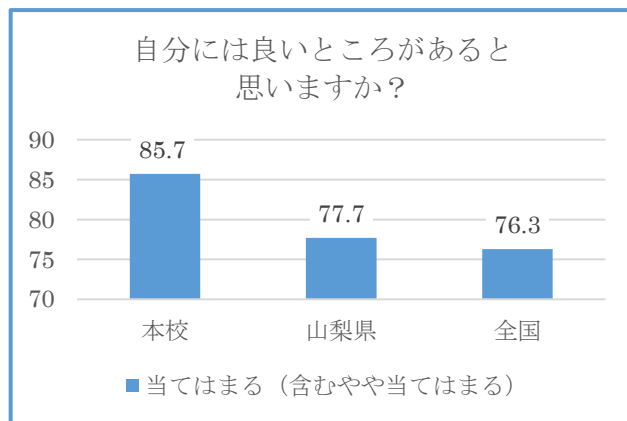
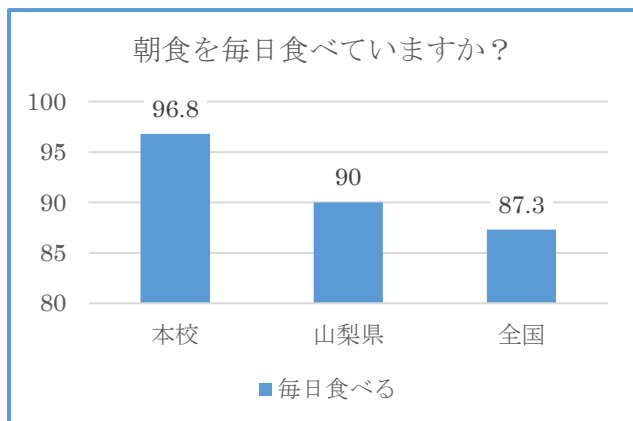
基本的な生活習慣の育成を図ります

- 今後も「あいさつ運動」や掃除での「黙働」の推進などを通して、学習の基となる基本的な生活習慣を身につけます。

学級づくりをより一層進めます

- より良い授業をするためには学級づくりが基本です。子どもたちが学級のきまりを守り、お互いに思いやり助け合う学級づくりを進めます。

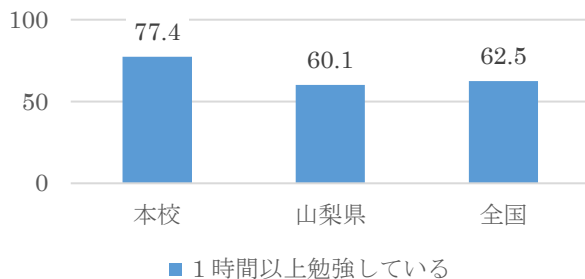
児童質問紙の結果とその分析について（生活編）



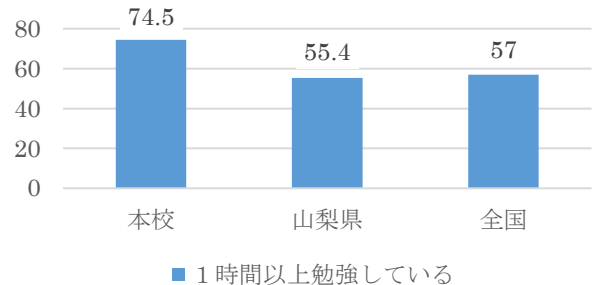
- 「朝食を毎日食べている」や「毎日同じくらいの時刻に寝ている」など、家庭での基本的生活習慣がしっかりしています。
- 「自分には良いところがある」や「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦する」「将来の夢や目標を持っている」など、前向きな考え方の子どもが多いです。
- テレビゲームや携帯やスマホでの会話やメール、インターネット閲覧など、極端に長くする児童は少ないですが、さらに少なくなるよう家庭と協力します。
- 本校児童は図書室にもよく行き、普段から本をよく読みます。
- 残念なのが、地域の行事に参加する児童の割合が県平均より少ないので、今後、家庭や地域と連携しながら積極的に参加するように働きかけます。

児童質問紙の結果とその分析について（学習・学校編）

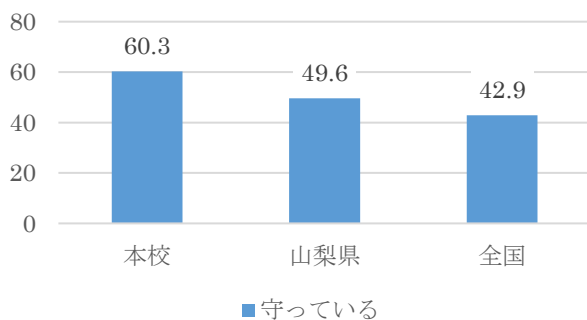
授業時間以外に、平日、1日あたりどれくらいの時間勉強しますか？



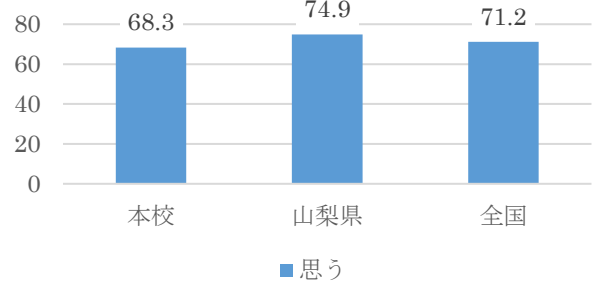
学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか？



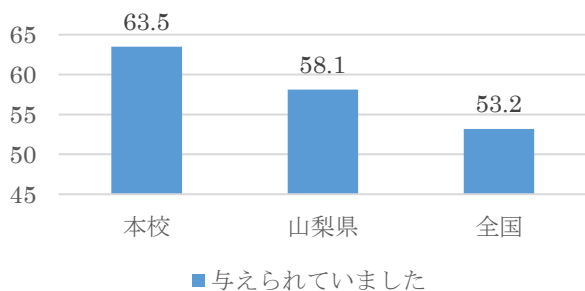
学校のきまりを守っていますか？



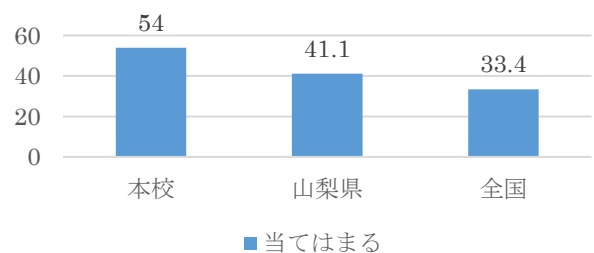
人の役に立つ人間になりたいと思いますか？



今までの授業で、自分の考えを発表する機会が与えられていましたか？



今までの授業の話し合う活動では、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えを伝えていましたか？



- 平日や休みの日に1時間以上勉強している児童の割合は、全国や県の平均に比べて高いですが、6年生ではそれ以上の学習時間を指導していきます。
- 学校のきまりをよく守るなど望ましい学校生活を送っているので、今後、「人の役に立つ人間になりたい」という心の育成をより一層指導して参ります。
- 授業中に自分の考えを発表し、友達としっかりコミュニケーションしながら学習を進めるのが「学び合いの学習」でありアクティブ・ラーニングですが、本校ではそれができていると思うので、今後、さらに進めていきます。

本校では保護者や地域にも恵まれ、望ましい教育活動ができていますが、慢心することなくより良い教育をめざして教職員一同努力して参ります。